

第3地域ロータリー財団チームニュース第2号

東京オリンピックが終了、東京パラリンピックへ

暑い夏が続いています。第3地域のロータリアンの皆様、いかがお過ごしでしょうか。7月23日から8月8日までのオリンピックでのアスリートの熱い戦いにコロナも忘れてTVの前で応援しました。素晴らしい結果を残してくれた日本の選手達に拍手を送りたいと思います。また、コロナも拡大が続き、非常事態宣言・蔓延防止法などが多くの都府県で適応され、ロータリー活動も制限されたままです。一刻も早い収束を祈ると共に、ロータリーの理念の基、揺るぎない親睦と奉仕を实践してまいりましょう。



奉仕しよう みんなの人生を豊かにするために

今回は、皆さんがよく質問をされる、地区補助金・グローバル補助金の諸手続きについて説明いたします。内容は、マイロータリーの中の「ロータリー財団」に詳細が書いてあります。

ロータリー財団の地区補助金・グローバル補助金の手続き方法

【補助金の種類】

ロータリー財団は、地区補助金とグローバル補助金を授与する。地区補助金は、財団の使命(ロータリアンが、健康状態を改善し、教育への支援を高め、貧困を救済することを通じて、世界理解、親善、平和を達成できるようにすること)と一致する奨学金、旅行、プロジェクトに充てるために、地区に一括で支給される。グローバル補助金は、重点分野のうち少なくとも1つに関連する大学院レベルの海外留学奨学金、職業研修チーム(VTT)、プロジェクトのために授与されるものであり、地域社会のニーズに基づき、その成果が測定可能、持続可能なものでなければならない。

【地区補助金】

地区補助金は以下に該当しなければならない。

1. 地元と海外において、プロジェクト、奨学金、職業研修チーム、およびそれらに関連した旅行を支援するものである。
2. 奨学生や職業研修チームのオリエンテーション、補助金管理セミナーに資金を充てることができる。
3. クラブと地区による協同提唱者探しを援助するため、ロータリーのプロジェクトフェアに行くための旅費および参加費に充てることできる。
4. 該当する法律によって認められ、またロータリー財団の方針に従っている場合、ロータリー国・地域とそれ以外の国・地域におけるプロジェクトと活動に資金を充てることできる。

5. ローターリー青少年交換、RYLA、ロータリー友情交換(職業的側面を強調したもの)、ローターアクト、インターアクト、新世代交換プログラムを支えるために使用できる。
6. 地域社会調査の実施にかかる費用に充てることができる。
7. 建設と改築に充てることができる。

*上記のように地区補助金は VTT や G 補助金のプロジェクトの準備段階に使用できる事、あるいは G 補助金では認められない建設や改築に使用できる事はあまりご存じない方が多いようです。また、青少年奉仕プログラムにも使用できる事は、地区の青少年奉仕活動を活性化することができるかもしれません。

【グローバル補助金】

グローバル補助金は以下に該当しなければならない。

1. ローターリーの**重点分野**の一つ以上に関連している。これらの活動には、人道的プロジェクト、1~4 学年の大学院レベルでの教科履修や研究のための留学用奨学金、および/または専門的な研修を提供することで人道的ニーズに取り組む職業研修チームが含まれる。
2. ローターリークラブが存在する国や地域にある地域社会を支援する。
3. プロジェクトが実施される地域社会のニーズに基づいている。人道的プロジェクトまたは職業研修チームのためのグローバル補助金を申請するクラブと地区は、地域社会のニーズ調査を実施し、実施地域の地域社会と共に、その結果に対応するようなプロジェクトを立案する必要がある。提唱者は、地域社会調査の結果を補助金の申請書に含めなければならない。
4. 補助金プロジェクトが実施される国の 1 つのロータリークラブまたは地区(実施国側代表提唱者)と、実施国以外の一つのロータリークラブまたは地区(援助国側代表提唱者)により提唱される。ロータリークラブが存在しないが国際ロータリー理事会が積極的に拡大に取り組んでいる国で実施されるプロジェクトに関しては、この方針の例外認められる場合がある。
5. **持続可能**である。ロータリークラブや地区が活動を完了した後も、実施地の地域社会が自力でニーズに取り組んでいかなければならない。
6. 測定可能である。提唱者は、「グローバル補助金:モニタリングと評価の計画について」から評価基準を選ぶ。
7. 次を含むインフラストラクチャーの建設に使用できる:トイレ棟および衛生システム、連絡道路、ダム、橋、倉庫、フェンスとセキュリティシステム、水・灌漑システム、温室。地下水を利用するプロジェクトの場合、水文地質学的調査を実施する必要がある。調査の費用は、補助金予算に含めることができる。
8. 人道的プロジェクトの一環として、最高 2 名までの海外旅費を賄う。これらの人は、現地で研修を提供したり、プロジェクトを実施したりする。ただし、これらの人が持つスキルが現地で得られないことを実施国側のクラブが確認した場合に限る。

* G 補助金を申請した場合(申請はマイロータリーの「補助金を申請する」からいつでも申請可能です)かなり何度も持続可能性を強調されます。受益者がそのプロジェクトを持続可能にするための教育プログラムや、地元の共同提唱クラブや団体の持続可能なプログラムの提示があるとかなり前進すると思います。

* ご不明なことがあれば、地域ロータリー財団チームにご連絡ください。

次回は、地区補助金・グローバル補助金の制約事項と申請方法について説明いたします。

再度の掲載です。日本のロータリー財団の 2021~2022 年度目標です。各地区のクラブにご周知いただき目標達成にご協力をお願いいたします。6 月に私の所属するクラブで予算編成会議がありましたが、ロータリー財団目標をクラブ会長エレクトが知らないということがありました。誠に申し訳ない限りですが、日本のロータリー財団目標を知らなければ、「決して寄付額は増えない！」ということですので。地区リーダーの皆様には大変恐縮ですが、財団目標を各クラブにご周知いただき目標達成にご協力を賜りますようお願いいたします。

2021～2022 年度 日本のロータリー財団目標

- * 年次基金 1人当たり150ドル(日本全体1,350万ドル)
年次基金寄付ゼロクラブゼロ達成を継続する。
Every Rotarian Every Year(年次基金への寄付)の推進
ポール・ハリス・ソサエティの推進
- * ポリオプラス基金 1人当たり30ドル(日本全体270万ドル又、1,500ドル以上のクラブに財団感謝状贈呈)
- * 恒久基金 冠名基金を各地区一件以上
- * 大口寄付 寄付の種類にかかわらず、1万ドル以上の寄付を日本全体で100件
AKSを日本全体で10名増やす。
中期目標として、2～3年で「AKS 0名地区」ゼロを目指す。

- * DDFの活用
 - ・DDFの20%をポリオプラスへ寄贈
(DDFの20%をポリオプラス基金へ寄贈した地区と、1500ドル以上の寄付をしたクラブには、ロータリー財団から感謝状が贈られます。)
 - ・ロータリー平和センター、重点分野への寄贈。
(日本ロータリー平和センター基金(E11695)の累計が、150万ドルに達すると毎年この基金からロータリー平和フェロー1名を支援できます。)
 - ・各地区がDDFを使い切る。
- * 補助金活動
 - グローバル補助金・地区補助金の活用の促進
 - ロータリー平和フェローシップの推進

ロータリー財団地域コーディネーター、ロータリー財団地域コーディネーター補佐の役割

- * 年次基金への寄付の重要性について地区リーダーを通じて、クラブに伝える。
- * ポリオ根絶コーディネーター(EPNC)と協力して、クラブへポリオ寄付を推進する。
- * 地区リーダーと協力して年次基金への寄付を推進する。
- * 地区リーダーと協力して、グローバル補助金・地区補助金への参加を促す。
- * ポリオ根絶・ロータリー平和センター・重点分野などの財団活動の周知を図る。
- * 地区の財団活動への支援を行う。
- * E/MGAと協力して、恒久基金・大口寄付の推進を図る。

～～RRFC・ARRFC 活動状況～～

駒井英基 ARRFC(2740地区)

2740地区: 11月に予定されている財団セミナーに参加。WFの枯渇の現状と恒久基金と冠名基金への寄付をお願いする予定。

2700地区: 岩崎財団委員長と会い、現状の報告を行い9月18日の財団セミナーに演者として出席。恒久基金と冠名基金への寄付をお願いする。

2730地区: 押川財団委員長に財団各部署長会議に8月7日に参加。9月4日に開催予定の地区財団セミナーにWEB参加。現況説明と恒久基金・感銘基金の講演する予定。

2720地区: 10月2日地区財団セミナーに永田RRFCによる講演を依頼した。

第3地域 EPNC 前田直俊(2670地区・坂出東RC)



2021～22年度より第3地域ポリオ根絶コーディネーター(EPNC)の役を務めることになりました前田直俊です。
ロータリー歴 1991年11月坂出東ロータリークラブ入会
2016～2017年度 RI 2670地区ガバナー
2017～2020年度第3地域 ARPIC
2018～2021年度 RI 2670地区ロータリー財団委員長
2018～坂出東四国ロータリーサテライトクラブ議長:兼任
ロータリーにおけるポリオの歴史的背景を考えながら、なおかつ、そう遠くないエンドポリオの未来を想定しつつ EPNC の役割を果たしていきたいと思います。縦割りの内容にはとらわれず広く地域の若者から高齢者までにポリオを軸としファンドレイジング、公共イメージ向上、会員増強に関して自分の経験談をわかりやすく伝えながら、従来からは脱皮した EPNC の役割を皆さんと分かち合いたいと思っております。

第3地域 E/MGA(恒久基金/大口寄付アドバイザー)佐藤芳郎(2680地区・岡山南RC)



恒久基金/大口寄付アドバイザー(E/MGA)の3年目を拝命しております佐藤芳郎(岡山南RC)です。お目にかかる都度大口寄付をお願い致しますが、決して強盗や毛虫ではありません。近づいても嫌わないで下さい。ロータリアンなら必ずお持ちの「恵まれない人に何かしてあげたい」を少しだけあと押しするのが役目です。地域内の地区やクラブで、ロータリー財団へのご寄付が世界各地での奉仕に活かされている事や、過去に大口寄付をなされた皆様のご支援に至ったキッカケを紹介し、併せて恒久基金・冠名基金が永遠に奉仕資金を生み出す意義をご理解いただきたいと思います。是非、卓話等にお声がけください。

* 佐藤芳郎 E/MGA は国際ロータリー理事エレクトでもいらっしゃいます。現・辰野克彦 RI 理事の後、2022～2024年のRI理事になられます。